

はじめに
システムについて
オリジナリティ
おわりに

ストリームデータに対する ソフトクラスタリングを用いた 情報推薦における教学データへの応用

滝沢 光介

富山県立大学 電子・情報工学科

August 5, 2021

背景

近年、コロナウイルスの影響から売り手市場で会った就活情勢が買い手市場にシフトしつつある。そこで学生は就職を希望する会社に入社するにはその会社が求める人材になるために効率的に勉強を行う必要がある。

目的

過去の卒業生の就職先や成績などのデータベースからクラスタリングを行い、その学生がどうしたら希望する企業に効率よく就職できるかのフィードバックを行うようなシステムを作成する。

現在考えている機能について

目標とする企業を指定し、過去の学生の成績や行動を分析



これらの分析結果から学生がどの分野、どの勉強を行えば効率的に
その企業へ就職できるかをフィードバック

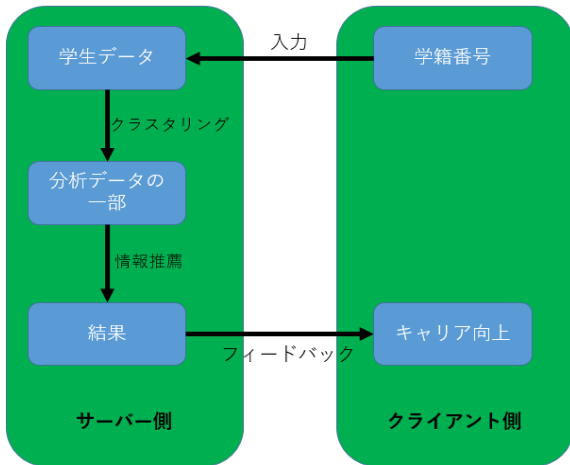


図 1: システム全体の流れ

前回まで

ストリーミングデータに対するクラスタリングを実装することでオリジナリティを出そうとしていた.

問題

ストリームデータについて改めて整理すると, 今回扱うデータはストリーミングデータではないので, そこでオリジナリティを出すことが出来なくなった.

今回

対象ユーザーの授業の評価予測値を算出した後に, 取得可能単位数や予測値などを考慮した最適化を行い, 何年のいつに何の科目を取得することがおすすめるのかをフィードバックする.

クラスタリングおよび情報推薦について

6/8

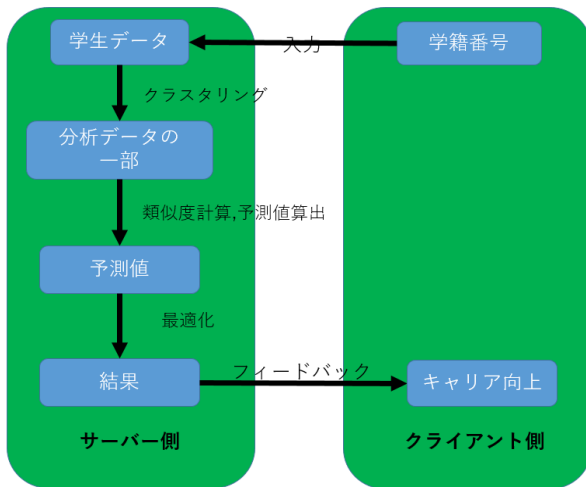


図 2: システム全体の流れ (改案)

学籍番号 1000000

名前 ○○ ○○

おすすめチャート

2年後期
・社会学
・プログラミング2
・
・

2年後期
・経済学
・電気回路
・
・

3年前期
・○○
・○○
・
・

3年前期
・○○
・○○
・
・

図 3: 結果のイメージ図

今後の課題

- オリジナリティをどうやってだすか